

どがなかな 大田市です!



Contents

- 2-3P 宮大工 森下孝明さん「技術の伝承は人を育てるところから」
- 4-5P 大田の漁業に新たな光 ～和江小底グループ
- 6-7P 三瓶人と自然満喫ツアー!
- 8-9P 定住推進員だよりVOL.5 定住フェアと空き家情報
シリーズ新石見異銀山⑩
- 10-11P おおだ情報BOX/ちょんぼし語録⑪
- 12P ふるさとは今(大元神社の巨木)/表紙紹介(大田市成人式(昭和43年))

VOL.17

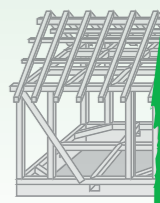
2011.2

大田市ふるさと情報誌

「技術の伝承は人を育てるところから」

もりした たか あき
宮大工 森下孝明さん

大田市祖式町・63歳
（前）森下コンストラクター代表取締役



50年の永きにわたり、全国各地の社寺建築に携わり、また、後進の指導育成にも努めてこられた森下さん。その実績が評価され、この度、卓越した技能者表彰「現代の名工」を受章されました。建築技術の習得や伝承への思いを伺いました。

弟子入りして体で覚えた

父親を早くに亡くし、手に職をつけようと、祖式町の石原建築に弟子に入ったのが15歳の時。おやし（＝父親でなく宮大工の師匠のこと）は、遠くは住吉大社から近くは出雲大社まで、棟梁として年中ずっとまわっていたそうだ。私が弟子入りしたのは、おやしが晩年、地元にいるようになってからのこと。

その頃は、山で木を伐ったり出したりするところから、製材までやっていた。おやしが製材機を使うとき



には相棒がいるから、私はずっとその相手。木の見方、どう切り分けるのか、どう曲がるのかというのは、ついて見ていたから、それで

棟梁に、そして独立：

覚えさせてもらった。それから、土壁のための竹も伐った。竹を割って、小舞をかく。それから土を掘って、練って、藁を入れて、水を調整して。土を練った時の、丁度良い硬さは、今でも足が覚えている。体で覚えたら忘れない。

叱られることもたくさんあったからね、下積みする間に、人間的にも成長できた。若い時にそういう苦労をしておけば、少々のこととも耐えられる。叱られることも当たり前だと思っていた。

写真左上／作業場での指導。女性の入門にはドラマがあったとか…



22歳で棟梁を任された、責任は重大。寝ても覚めても、現場のことが頭から離れなかった。一番若い私が、年季のいった大工を何人も使わなければならなかった。そういう難しさというのは骨身にしみている。

その後、独立させてもらった。現在、私の会社には、34歳までの7人の大工がいる。毎朝、朝礼をしているが、現場できちつと合わないという理解できないこともある。しっかりと教え込みたいという気持ちがある。初めは手間もかかるから、弟子がとれるのは3年に一人くらいだ。

家づくりで大切なこと

できるだけ、昔ながらの在来工法を取り入れるようにしている。木と金物は相性が良くないからあまり使いたくないが、新しい金物でも、これはいいと思えば使う。建築中の石州素舞流のモデルハウスがその見本。よその現場で、新建材の壁材を見ることがあるけれど、何年か経った後の風合いを考えると、昔ながらのものの方がいいと思う。



NHKの番組で、カンナがけを披露。照明の熱で苦労されたとか。

新しいものは、その時は安いですが、後で維持費がかかることが多い。

同じ金額でやれといわれれば、家の骨組みに力を入れる。その分、設備類などは下げるよ、流行もあるしね。一生使っていくものではないし、必要以上のものは要らない。

適材適所、木も人も同じ

一軒の家を建てるには、木のくせを分かって、適材適所に配置してやる。それには、木のくせを見抜く力を持たなくてはいけない。そのためにも、数をたくさんあたって、いろんな木を見たりやったり。絶えず言っているが、木も人と一緒に、生き物だと。

木がこうして使ってもらいたいと思っているのに反対に使うと、怒る。いやなのに無理やりさせると、反発する。楽なように押してやったり、壁で支えてやるとか。そうしてやると、木も楽し、それできちつと

狂いもせん。ただそれだけのこと。

人も同じ。素直な子はどこでも使える、家づくりでも一緒、どの場所へでも使える。一方、くせのある子は、強い。強いから、もつていきよようによっては、一番力のかかる場所で、うまく

サポートしてやれば、大きな力を発揮する。

技術の伝承のために

技術を伝承させようと思ったら人を育てるところからやらなければならぬ。どんなに上達が早くても、心がついていかなければそ

こで止まってしまおう。その人がどんな技術を持っていても、次の人に伝えられる人でなければ、そこで途絶えてしまう。そうでしょう。だから、人を育てると

いうことがとても大切なんです。



「ものづくり名人」としても、子供たちに木工の楽しさを伝えておられます。

島根県大田市の職人達が、地元の自然素材を使った住まい造りのお手伝いをします。
ニュース・イベント | サイトマップ | リンク | お問い合わせ

◆「モデルハウス」竹子舞土壁 Part 1◆



今年度は、国土交通省の補助金を受け、長久町稲用にモデルハウスを建築しております。今回の壁材は、竹子舞土壁にしてあります。竹子舞土壁の材料は全て大田市内調達できるものばかりです。



初めて竹子舞を見ましたが、壁の性能として求められていることが全て対応できるあり、「昔の人はよく考えて作っておられたんだなー」と感じました(…)

竹子舞土壁の利点を左官さんに教えていただきました。

- ・耐火性(土は燃えない)
- ・耐震性(パネル状になり、筋交い効果有り)
- ・耐熱(保温)性、遮音性(土壁が厚く、熱が伝わりにくい)
- ・調湿性(吸湿・放湿を土が自然に行う。)
- ・エコ(解体時には再利用できる)
- ・健康(化学合成物質が含まれていない。)



＜石見の匠・住まい造り集団＞ 〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ309-2 (大田商工会議所内)MAP)
お問合せ 石州素舞流(せきしゅうすまいる) TEL: 0854-82-0765 / FAX: 0854-82-2993
e-mail: ohdaccci@shimanet.jp
Copyright(c)Sekishu Smile, All rights reserved. ↑石州素舞流HP

‘石州素舞流’モデルハウスを建築中！

地元の材料と伝統の技術での家づくりをすすめるグループ‘石州素舞流’の取り組みも、7年目になりました。メンバーは、工務店、製材所、瓦メーカーなど、地元の住宅関連事業者です。彼岸市での木工体験や植樹体験などを行う中で、その活動も認知されてきています。

さて、石州素舞流では、森下さんの陣頭指揮のもと、現在、長久町においてモデル住宅を建築中です。2月には完成し、住宅展示会を行います。施工にあたっては、自然素材と伝統の技術はもちろん、最新の技術も取り入れています。また、天井は表わしとし、土壁も施工の様子が分かるようにするなど、‘魅せる’工夫も随所に見られます。お楽しみに。

【問い合わせ先】石州素舞流事務局(大田商工会議所) ☎0854-82-0765

大田の漁業に 新たな光

和江小底グループ(静岡町)



大田市の水産業

日本は、周りを海に囲まれ、世界でも有数の豊かな漁場を有しています。

なかでも日本海に面した島根県の水産業は重要な産業といえます。島根県の漁獲量は全国で10番目、12・9万トンが漁獲され、大田市ではそのうちの約8千トン、28億円が漁獲されています。

まき網漁業、一本釣り、採貝藻漁業など多くの漁業種が行われていますが、なかでも小型底びき網漁業は島根県を代表する漁業の一つで、県内55隻のうち47隻が大田市に所属し年間およそ5・2千トンが漁獲されています。

小型底びき網漁業とは、15トン未満の漁船に5〜6人が乗船し、水深200m程度までの海底で網をひく漁法で、カレイ、イカ、ニギス(沖イワシ)、ヒラメなど多くの魚種が水揚げされます。



「せり」の準備風景

午前2時頃に出港し、夕方帰港する日帰り操業で、獲れた魚はその日のうちに「せり」にかけられます。これは全国的にも珍しく、水揚げからすぐに「せり」にかけられる大田の魚は、鮮度がよいのが特徴です。

新たな取組み

全国的に漁業者の減少と高齢化が進み、燃油高騰に加え、魚価の低迷が続くなか、和江漁港の小型底びき網漁業を営む若手グループ(5隻10名)がこのほど島根県知事から「地域を引っ張る!農林水産業で頑張っ

漁獲量一位は?

大田で多く水揚げされる

ているリーダー」として表彰されました。

今回の新たな取組みは、船に網を揚げるためのロープを巻き上げる機械(ウインチ)や漁具を軽量化するなど改造するともに、漁労従事者を6人から4人へ省人化することによってコストを削減し、作業スペースを拡大することで安全性を改善しました。また、地元仲卸業者と連携し、鮮度保持に取組む高品質な商品の販路の開拓の取り組みが評価を受けました。

リーダーの中村貴之さん(33歳)は、「魚価があがらない状況の中、経営は決して楽ではない。危険と隣り合わせなうえ体力的にも辛いこともあるが、仲間とともに取組み、今後も新鮮で美味しい魚をみなさんに食べてもらいたい」と意気込みを語っていただきました。

45年前は、およそ14kgでしたので魚を食べる量は減ってきているのです。

魚は肉に比べると料理に一手間余計にかかること、特有の臭いが苦手だということ、若い世代が増えてきたことも魚の消費量の減少の大きな理由といわれています。

漁業経営の安定も勿論ですが、日本人の大切な栄養源である魚食の普及を図ることは、非常に重要なことです。

現在、漁業協同組合JF

しまねでは、魚食の普及を拡大するために、市内の幼稚園に出掛けて園児と一緒に魚の料理をし、魚の美味しさを実感してもらう取り組みをしています。

また、島根県や市と共同で、市場見学会や試食会を開催し、魚食の普及に努めています。

皆さまも、健康増進の観点からも、魚を食べる機会を増やしてみたいいかがですか?

魚食の普及拡大を

みなさん一年間でどのくらい魚を食べますか?平成21年度の水産白書によると一人当たりの鮮魚の年間購入量は、およそ10kgとされています。秋の食卓にならぶサンマ1匹が約130gとして年間約77匹を食べているという計算になります。

多いと感じますか?それとも少ないと感じますか?

ちるのが早いと言われ、なかなか食べることができませんが刺身で食べると非常に美味しいと評判です。

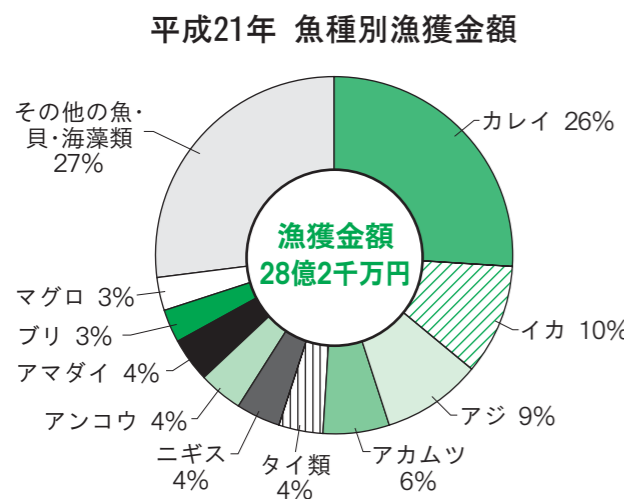
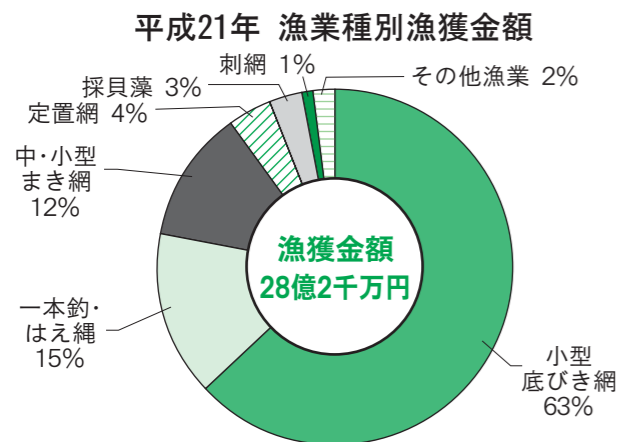
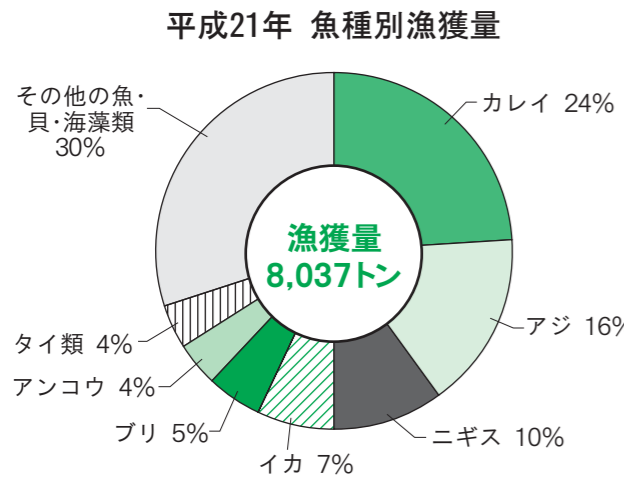
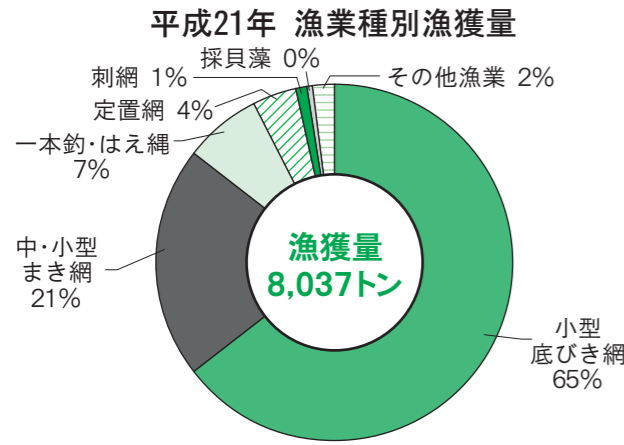


ニギス(沖いわし)

魚をご紹介します。

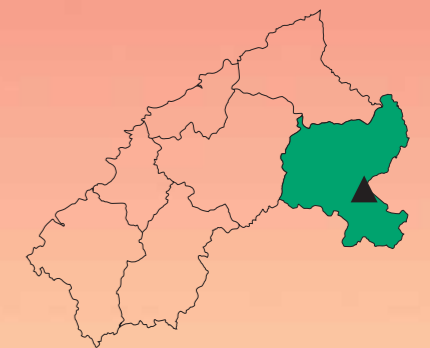
一番多く獲れるのが「カレイ」です。これは主に小型底引き網漁業で漁獲されます。「カレイ」にはいくつかの種類があります。夏場を除き一年を通して漁獲されますが、2月頃は子持ちとなり脂がのって美味しいと言われます。

二番目に多く漁獲されるのが「アジ」、三番目が「ニギス(沖イワシ)」です。「ニギス」は比較的安価で一般的な魚です。鮮度が落



三瓶山

Sanbe



三瓶まちづくり委員会



私たちが委員です。安心・安全に暮らせる三瓶のまちづくりに向けて頑張っています。

三瓶が地域外の人に誇れるもの。それは自然のすばらしさと寛大な人たち。

大山隠岐国立公園に属する三瓶山には、四季を通じて多くの人が訪れます。しかし昨年、スキー場休業の決定により、更に三瓶を訪れる人の減少が明確なものとなりました。

人の足が遠のくことに懸念を抱いたまちづくり委員会では、三瓶ツーリズム実行委員会を立ち上げ、市との協働で三瓶が誇る自然と人を題材にしたツアーを企画しました。

題して「三瓶人と自然満喫ツアー！」地域外の人に三瓶の良さを知らしめ、幾度も当地を訪れてほしいと願いを込めたツアー（9月25日・26日・1泊2日）の模様を紹介します。

◎開会セレモニー後、リフトで太平山登山

百聞は一見に如かず。三瓶の価値を知るにはこの場所。遠くに見える山々は、人々に爽快感を与え、室内は大きさを感じさせます。癒しのスポットでもあります。

- 太平山リフト 650円
- 営業時間 AM8:00～

⑦広島から8名のお客さんが来られました



太平山からの眺めは気分爽快！



④太平山の頂上で、自然館中村さんが三瓶の自然と成り立ちについて解説しました

⑥開会式には、竹腰市長が挨拶をされました



雄大な自然と三瓶放牧牛を堪能？



④池田地区住民にとって大切な場所「浮布広場」。この絶景の中で食する三瓶牛は格別な味でした。

⑤川村さんの「こーいこーい」の掛け声に森の奥から放牧牛が走ってやってきます。これには参加者一同が「感動！」と口をそろえました。



◎放牧牛と戯れ、昼食のバーベキューは大自然の中で

西の原で放牧を営んでいるのがかわむら牧場さん。牛たちと過ごしてきた楽しい思い出を語ってくれます。餌付け体験後、浮布広場に場所を移し、脂の乗った三瓶牛と地元野菜をふんだんにいただきました。

- かわむら牧場
- 精肉販売 2,400円～
- 連絡先 090-4659-3054



◎なだらにかける昔ながらの稲刈り体験

米作りの大変さと三瓶の米のおいしさを皆さんに知ってほしいと、ファーム浮布の藤原さんが本ツアーを発起。手ごたえはあったのでしょうか…

- 無洗米(3kg) 1,500円～
- 連絡先 0854-83-2525



④地域住民の中にも初心者がいきました(右中)
⑦ツアー参加者と主催者全員で記念撮影



⑥「なつかしい」と子どもの頃の記憶を辿る参加者
⑧藁でよった結束ひもで稲を結えました



プロの指導は間違いなし！

◎三瓶のそば粉に三瓶の水、三瓶の職人

三瓶の食と言えば「三瓶そば」。はないかだ(自然館内)店主湯浅さんは、水加減など全てにおいて拘りを見せます。その指導で作られたそばは絶品。

- そば処 はないかだ
- ざるそば 650円～
- 営業 土・日・祝AM11:00～PM14:30



④湯浅さんの手本を真剣に見入る参加者

⑥角だし(正方形になる)が上手くいくと一人前

⑧「最初の水廻しが肝心」と念入りにごねました

◎夜はさひめ野で交流会、朝は原っぱ市訪問



④三瓶山神代神楽の上演に感激！
⑦原っぱ市の店内には、多くの百均野菜が並んでいます



その他の交流も…

本ツアーの参加者(8名)全員が大変満足して帰られました。三瓶山には訪れた人の心を満たす自然や食材がたくさんあります。このような素材を活かした取り組みを各地域で行えば、多くの人の交流が生まれます。しかし全てボランティアでは継続が難しく、もてなし過ぎず普段の姿を見てもらい接していけば良いことも分かりました。今後三瓶再生に向けた持続可能なツアーを地域で考えていきたいと思えます。

ツアーで活躍した三瓶の誇れる人



▲三瓶自然館 中村唯史さん
三瓶の歴史と自然に長け、分かりやすい説明は皆から感嘆の声



▲かわむら牧場 川村千里さん
400年余り続く三瓶放牧の歴史を西の原で現在に引き継ぐ



▲ファーム浮布 藤原真章さん(右下)
県営圃場整備実施を契機に農業生産法人を設立。約20haの農地で、米(こしひかり)を栽培



▲そば処 はないかだ 湯浅英行さん
水稲、そば、野菜等を栽培。水曜日には広島市南区翠の『あつぶるたうん』内「スペースショップ」で新鮮野菜を販売

ご協力ありがとうございました

海・山に囲まれた大田市で暮らしてみませんか？

大田市では「おおだ定住支援センター」を設置し、いつでもUターンなどをご希望の方のご相談をお受けしています。また、同センターでは定住希望者の住宅ニーズに対応するため空き家情報の提供も行っています。

定住についてのご相談や空き家情報についてのお問い合わせは、『おおだ定住支援センター〈大田市役所まちづくり推進課内〉(☎0854-82-1600)』までお願いします。また、物件の現地案内もいたしますので、ご希望の方はご連絡ください。(※物件の所有者との調整が必要ですので必ず事前にご連絡をお願いします。)

提供している空き家情報の詳細は、おおだの定住サイト「どがどが(<http://www.teiju-ohda.jp/>)」でご覧いただけます。

どがどが 検索

① どがどが	賃売区分	構造		⑧ 	売却	木造瓦葺 2階建	
	所在地	住宅面積	敷地面積		富山町	246.1㎡	445㎡
	金額	特記			1,100万円	高台にある日当たりの良い物件です。別棟の倉庫もあります。	
① 	売却/賃貸 大田町	木造瓦葺 2階建 201.4㎡ 413.3㎡		⑨ 	売却	木造瓦葺 2階建 164㎡ 277.6㎡	
	380万円 月2.5万円	市街地から車で10分。収納が多く大家族向け。一部改修工事が必要です。			600万円	漁港まで徒歩5分の場所にある即入居可能な物件です。	
② 	売却 大田町	木造瓦葺 2階建 88.5㎡ 90.5㎡		⑩ 	賃貸	木造瓦葺 2階建 186.3㎡ 543.2㎡	
	150万円	市街地にあり便利な場所です。一部改修工事が必要です。			8万円/月	約5台駐車可能な敷地の広いDKの物件です。行政区域は大田町です。	
③ 	売却 大田町	木造スレート葺 2階建 108.2㎡ 475.2㎡		⑪ 	売却	木造瓦葺 2階建 169.6㎡ 994㎡	
	1,000万円	市立病院の隣の日当たりの良い物件。一部改修工事が必要です。			1,600万円	市街地に近く、日当たり良好な敷地の広い物件です。	
④ 	賃貸 川合町	木造亜鉛鉄板葺平屋建 123.4㎡ 387.3㎡		⑫ 	売却	木造瓦葺 2階建 160.5㎡ 190.4㎡	
	月2.5万円	閑静で日当たりの良い物件です。2台駐車可能な車庫付です。			700万円	漁港の近くにある即入居可能な物件です。	
⑤ 	売却 大田町	木造瓦葺平屋建 43.2㎡ 145.1㎡		⑬ 	売却	木造一部コンクリート瓦葺 2階建 146.2㎡ 168.6㎡	
	100万円	市街のほぼ中央にある元市営住宅です。一部改修工事が必要です。			300万円	日本海や三瓶山の眺望が最高の物件。一部改修が必要です。	
⑥ 	売却 富山町	木造瓦葺 2階建 321.8㎡ 658.1㎡		⑭ 	売却	木造瓦葺 2階建 261㎡ 429.7㎡	
	200万円	古民家風の住宅で、広い納屋があります。一部改修工事が必要です。			850万円	建物が2棟あり2世帯での入居も可能です。店舗としての利用可能です。	
⑦ 	売却 波根町	木造瓦葺平屋建 169.3㎡ 262㎡		⑮ 	売却	木造瓦葺平屋建 122.5㎡ 610.8㎡	
	450万円	波根町のほぼ中心部にある即入居可能な物件です。			100万円 (建物のみ)	土間のある古民家風の物件です。一部改修が必要です。土地は借地です。	

(平成23年2月1日現在)

都市圏で定住相談会を開催

島根県及び県内の市町村が連携して、Uターン者を促進するため、都市圏で定住相談会を開催しています。相談会では、Uターン希望の移住相談をはじめ、ふるさとの情報や話題提供などを行っています。

移住は、人生を左右する大切な出来事でもあります。仕事や住居など様々な不安についての相談に応じています。

大田市へのUターンをお考えの皆さん、お気軽にお出かけください。なお、今年度はこの様な相談会を利用された方を含めて56人の方が、大田市へ移住されました。(H23. 1月現在)



石見定住フェア

～石見の魅力をPR～

昨年より県内石見地区(4市4町)の市町村が参加して開催している石見定住フェアが、今年度は大阪と広島の2カ所で開催されました。

- 大阪；平成22年11月21日(梅田スカイビル)
・来場者120人、相談者22人
- 広島；平成23年2月27日(八丁堀シャンテ)

しまねUターンフェア

～東京・大阪・広島の都市圏をターゲット～

財ふるさと島根定住財団の主催により東京、大阪、広島で定住フェアが開催され、県内11～14市町村が参加。大田市のブースでは、田舎暮らしを希望するUターンや帰省をお考えのUターン者の相談を受けるほか、ふるさと情報の提供を行いました。

- 大阪；平成22年10月3日(梅田スカイビル)
・来場者200人、相談者45人
- 東京；平成22年10月30日(秋葉原UDX)
・来場者137人、相談者18人
- 広島；平成22年11月27日(広島国際会議場)
・来場者134人、相談者8人

ふるさと回帰フェア 2010 in 大阪

昨年よりNPOふるさと回帰センターが主催する全国向けの定住フェアへ参加しています。昨今、都会地では田舎暮らしや故郷志向が強くなる中、9月7日、大阪で行われたフェアには、約6千4百人もの来場者がありました。大田市ブースでは5名の定住相談を受けました。

シリーズ新石見銀山⑬

遺跡発掘調査、続けています

石見銀山では、遺跡の発掘調査を継続して実施しています。鉱山遺跡の全体像を解明する目的で、計画的に調査地や位置などを決め、考古学をはじめとする専門家からの指導をいただきながら調査を進めています。

昨年は、仙ノ山西麓の「昆布山谷」地区で調査を開始しました。調査地は観光坑道の龍源寺間歩の出口から約100m下った佐毘売山神社参道に向って右の脇道から少し登ったところでした。

佐毘売山神社をいただく丘陵にはいくつもの間歩が確認されています。また、文献史料によると、昆布山谷は、「石が滑らかで昆布のようなのでこの谷を昆布山谷」との由来があり、16世紀の銀山開発初期に人々が集住していたこともわかっています。一方で、明治期に稼業した近代鉱業設備跡が残っていることや、周辺の出土谷や傍畑谷において、過去に実施した発掘調査で江戸時代後期の銀や銅を製錬した施設があったことが明らかになっています。このことから、この周辺の谷一帯は長期間にわたって鉱業に関する営みがあったことがわかっています。

昨年の調査では、江戸末期から明治時代にかけての炉跡や礎石建物跡などの遺構と、陶磁器片、

瓦片(いぶし瓦、石州瓦)や鉾(※こうし、こうさい)などの遺物を確認しました。今年も引き続き調査を行い、銀山開発初期から明治期の土地利用の変遷を確認し、遺跡の保存と活用などに利用できる基礎資料を得ることとしています。

今回の調査地点は佐毘売山神社に近いこともあり、発掘調査の現場を公開し、調査の様子をたくさんの方に見ていただきました。今後も条件が整えば、発掘調査の現場を皆さんに見学していただける機会を設けたいと考えています。

※金属を作るときに出るカス



発掘調査の様子

【問】 石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183 ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

みんな!

待っとなるでな～

春の彼岸市「中日つあん」

期日 3月20日(日)・21日(月)

場所 大田市駅通り

大田市民会館駐車場など

昔は、農民の日用品の交換・農具市・牛馬市などを主としていましたが、現在では、植木市など約2kmにわたって、300近い露店が並びます。

[問]大田商工会議所

☎0854-82-0765

三瓶山山開き

期日 4月24日(日)

場所 三瓶山西の原

登山の安全を祈念し、自然と人間の結びつきを高めるため、三瓶山山開きが行われます。

新緑の三瓶山を登ってみませんか。

[問]大田市役所観光振興課

☎0854-82-1600(内線233)

道の駅「ロード銀山」 農産物直売所オープン



期日 4月中旬

場所 道の駅「ロード銀山」

(久手町国道9号沿い)

道の駅に登録された「ロード銀山」の敷地内に農産物直売所がオープンします。大田産の新鮮な農産物、加工品などの販売、PRを行います。

[問]大田市役所農林水産課

☎0854-82-1600(内線271)

石見グランfond2011(通称:石見ライド)

日時 5月7日(土)16:00~19:00(前日受付)

5月8日(日)7:15~18:15(予定)

場所 受付、スタート・ゴールは
久手海水浴場(大田市)

石見地方の絶好のロケーションの「石見山塊・往還コース(200km)」を駆ける、自然と一体に、そして石見の歴史文化を体感するサイクリングイベントです。
参加費 8,000円 ※事前申込が必要です。

[問]NPO法人サイクリストビュー ☎0852-21-3920



大田市小学校連合運動会

期日 5月14日(土)

場所 大田小学校校庭

明治28年5月、安濃郡内の各小学校生徒大運動会として始まった歴史のある運動会です。

市内の小学校児童が参加!!

[問]仁摩小学校

☎0854-88-2629



クリーン三瓶

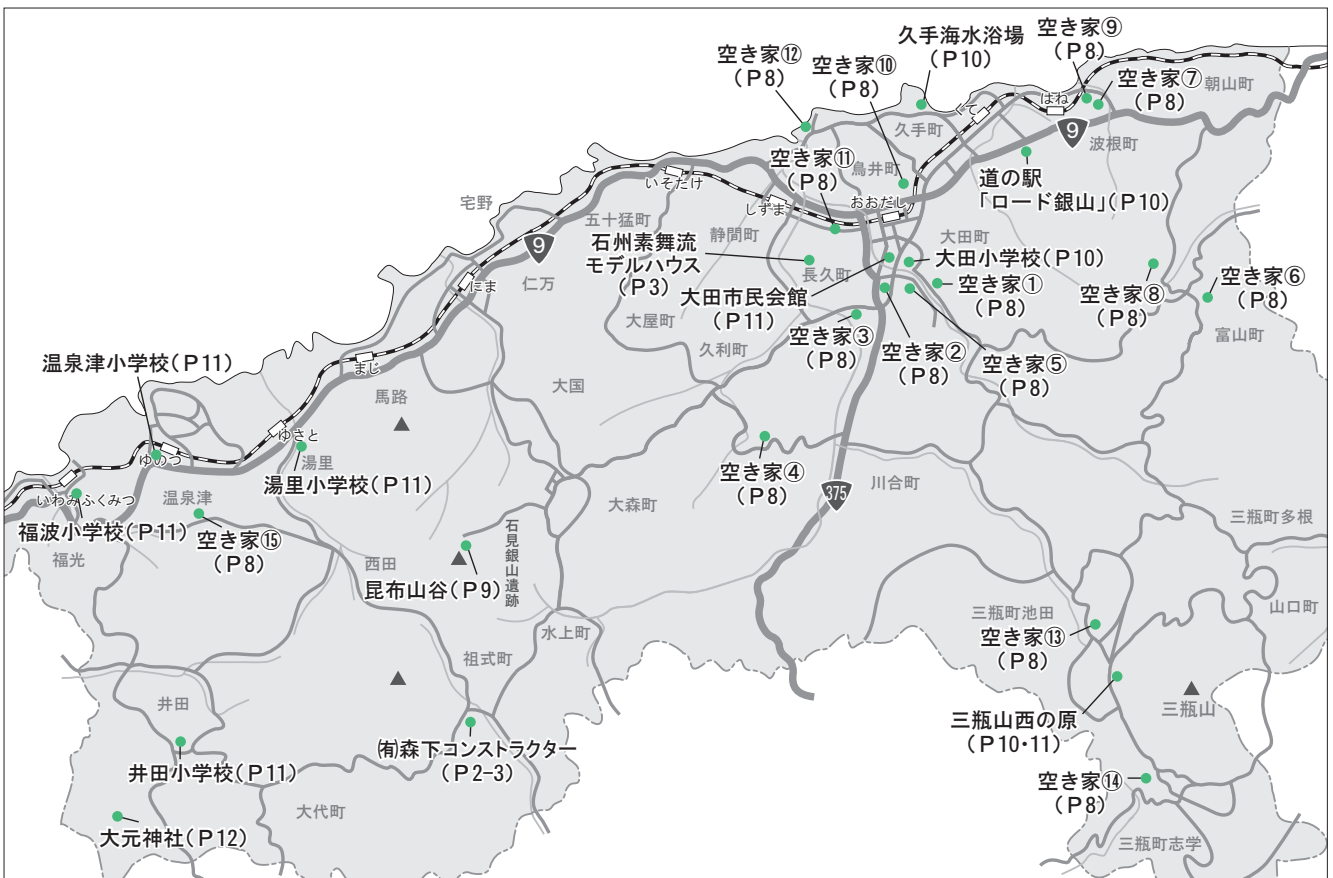
期日 5月15日(日)予定

場所 三瓶山西の原

三瓶山西の原一帯を中心とした清掃活動です。国立公園三瓶山をみんなできれいにしよう。

[問]大田市役所環境衛生課

☎0854-82-1600(内線152)



おおだ情報BOX

創作音楽劇『琴の鳴る浜』

期日 3月13日(日)
場所 大田市民会館大ホール
開演 14時(開場13時30分)
入場料 全席自由 ※当日券は200円UP
前売り:一般 1,000円
高校生以下 500円
ふるさとの伝説を音楽と劇で舞台化!
劇・合唱・ソロ・生演奏~舞台の感動を再び!
[問] 大田市民会館 ☎0854-82-0938

三瓶山西の原火入れ(通称「野焼き」)

期日 3月19日(土)
場所 三瓶山西の原
三瓶山の防火対策と草原の維持再生を目的に毎年この時期に行われています。大草原に立ち上がる炎は見る者を圧倒し必見です。
※見学自由
[問] 大田市役所農林水産課
☎0854-82-1600(内線251)



温泉津地域4小学校閉校記念イベント

平成23年4月、温泉津地域にある湯里、温泉津、福波、井田小学校の4小学校が統合され、温泉津町全体を校区とした、新しい「温泉津小学校」(校舎は現福波小学校)としてスタートします。統合となる各小学校で閉校式や記念イベントが行われます。

●湯里小学校

期日 3月19日(土)
場所 湯里小学校
難波利三講演会、ふるさと会食、記念碑除幕式、ステージ発表など。
[問] 湯里まちづくりセンター
☎0855-65-3038

●温泉津小学校

期日 3月19日(土)
場所 温泉津小学校
学校の思い出スライド・DVD上映、温泉津中吹奏楽演奏、温泉津小児童合唱、よさこい、記念撮影(全員参加)、会食。
[問] 温泉津まちづくりセンター
☎0855-65-1522

●福波小学校

期日 3月20日(日)
場所 福波小学校
福波小児童による創作劇「経家最後の手紙」の上演、有志によるステージ発表、出店など。
[問] 福波小学校
☎0855-65-2573

●井田小学校

期日 3月20日(日)
場所 井田小学校
記念碑の除幕式、井田小児童のステージ発表、ウインドオーケストラの演奏、井田小米の紅白餅の配布、会食。全員参加の手作りイベント。
[問] 井田まちづくりセンター
☎0855-66-0711

ちゃんぽし語録⑩

前回に引き続き登場のA(夫) B(妻) 夫婦です。通学中の新一年生を見たときの会話です。

A: こまいのがひっしもっしになって歩いてるがぁ、ありゃニイナヤの孫でないか。
B: お父さん、曾孫だわね。
A: おう、そがだったいな。ちびっとわて大きゅうなるとると思つたが、はぁ小学生になるだかいな。
B: うちねの孫もじきにあがになりますでな。
A: 早いもんだいなあ、わしらも歳拾うはずだ。こらニイナヤに行ってこにやならんわ。
B: 何しに行きなはるかな。
A: うちねの孫もじき小学校へあがるけえ「いしこに頼んます」ちゅうとかなならん。
B: だましにいなげなことをゆうて。
A: いなげだないわな、我(わ)の孫のためだけ。
B: まんだよーに先の話だでな。あんたやちゃ、たんびに寄とるだけえ、その時でえかるうがな。
A: いんやあ、早い方がいいわな。ほんなら行ってくるけえのあ。
B: やれの、なんたちよちよくさだかいな・・・。

【対訳】

A: 小さいのが一生懸命になって歩いているなあ、あれはニイナヤの孫じゃないか。
B: お父さん、曾孫ですよ。
A: おう、そうだったな。ちよとずつ大きくなっているとは思っていたけど、もう小学生になるんだな。
B: 我が家の孫もそのうちああなりますよ。
A: 早いものだなあ、私たちも歳をとるはずだよ。こりゃあニイナヤに行って来なくちゃいけないな。
B: 何をしに行くの?
A: 我が家の孫もそのうち小学校に入るから「よろしくおねがいます」と言っておかなきゃならない。
B: 突然変なことを言うて。
A: 変なことじゃないよ、自分の孫のためなんだから。
B: まだずっと先の話ですよ。あなたたちは頻りに集まっているんだから、その時で良いじゃないの。
A: いや、早い方がいいよ。それじゃあ行ってくるからな。
B: やれやれ、なんという慌て者でしょう・・・。

(解説)

おおだでは、新一年生の数というのが一大関心事。「みまもり」グループが結成されるなど、地域で子どもを育てる機運が盛り上がりつつあります。

でも、自分の孫となるとまた特別。Aさんの気持ちもよくわかりますが、子どもたちの見本となるよう、どっしりと構えた大人になりたいものですね。

ふるさとは今

おおもと

大元神社の巨木【温泉津町井田】



温泉津町、井尻地区の大元神社のカツラは、大木で珍しく大田市指定の「天然記念物」となっています。

24本の幹からなり、株周り18メートルで16人が手をつないで届く大きさです。

初夏（5月連休の頃）の芽吹きときは美しく、葉はハート形をし、芳香を放ち、秋の落葉もこうばしい甘い香りがするという事です。

地区の古老から、昔、乳飲み子を持つ母親はこのカツラの木のそばの清水で白米のとぎ汁を作り、それを黙って振り返らずに持ち帰ると乳が出るという習慣があったと聞きました。ミルクのない時代、祈ることは生き残ることだったのでしょう。昔から何か願い事や困ったことがあればこの大元神社で手をあわせる。そこにいるだけで、不思議と力が湧く、そんな大元神社は温泉津のパワースポットと言えるのではないのでしょうか。



▲昨年5月井尻地区で行なわれた第2回「ふれあいウォーキング」の様子

＝大元神社への行き方（大田方面から江津方面）＝

国道9号沿いの「江津丸善石油温泉津給油所」を左折、県道温泉津川本線を道なりに約12km進み、右手の殿村集会所を右折（高野寺方面）。150m先の看板を左折し、行き止まりの井戸さん宅から200mほど山の中へ入る。詳しくは、井田まちづくりセンター ☎0855-66-0711

表紙 あの時～大田市成人式(昭和43年)～

表紙の写真は昭和43年1月5日に行われた大田市成人式の写真です。この年は戦後のベビーブームの人たちが成人を迎えました。該当者は、昭和22年1月17日から23年1月16日までに生まれた1,467人(男747人、女720人)で、うち約600人が式に出席。新成人の皆さんには、紅白のまんじゅうと記念品として男性にはホームセット、女性には鏡が贈られました。



現在

左の写真は1月4日に行われた今年の成人式です。昔に比べると新成人は随分と少なくなっています。また、誰もがケイタイやデジカメで晴れ姿を手軽に記念撮影するという昔には想像すらできなかった光景が繰り広げられています。今年の新成人の皆さんには、仁摩サンドミュージアムが開館して20年で同い年ということにちなみ、“かけがえのない時”を刻んで欲しいという願いから記念品として砂時計が贈られました。

成人の該当者数 (人)

	昭和43年 (1968年)	平成23年 (2011年)
旧大田市	1,467	351
温泉津町	※351	40
仁摩町	284	46

※昭和44年のデータ

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp http://www.city.ohda.lg.jp/
“おおだ”の定住サイト「どがどが」 http://www.teiju-ohda.jp/

どがどが 検索